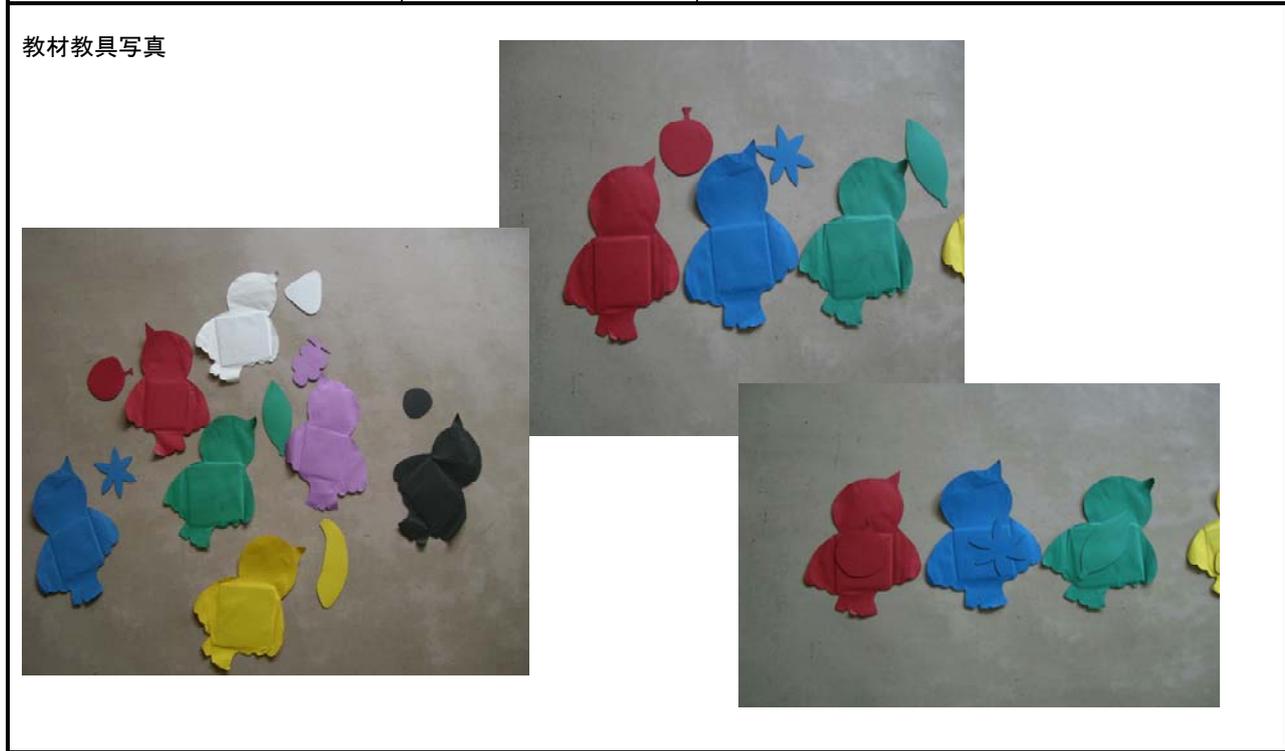


教材教具名 いろとりどり	教科（国語・算数）	
--------------	-----------	--



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい ○音楽を聴き、歌にあわせて操作しながら、1対1対応の方法を身につけさせるとともに、色やものの名前の違いがわかる。
- 2 発達段階 操作することが楽しめ、数や量、色を認識する時期
- 3 使い方
手遊び歌「いろとりどり」の曲をかけ歌詞「あかいことりがとんできて、あかいりんごをたべました。きいろいことりが・・・」にあわせて小鳥の口からいろいろなものを食べさせ、お腹の中に入れるようにして磁石に貼り付ける。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

音楽が大好きな子供たちであるので、単に色だけを学習するよりも音楽に合わせて操作活動に親しむことができた。何回も学習する中で教師のやる通りに同じ色の食べ物を口から食べさせる場面がみられるようになった。黒い縁取りがあったり、よけいな色があると、色の混乱が起きることを予想して、同一色の形だけで判断できるように工夫した。Instrumentalの曲を使って、替え歌を作り、もの名前、他の色、数、など応用できる。